

2025 年度 淡海フィランソロピーネット事業報告

2025 年度は、当ネット 30 周年という節目を迎える 2026 年度に向けて準備と機運を高めてきた 1 年でした。3 月に開催した記念フォーラムでは、新たな会員も参画のもと、改めてこの 30 年を振り返るとともに、災害支援のこれからについても皆で展望し、会員一丸となって社会貢献活動に取り組んでいく機運を高める契機となりました。

・会員研修では「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」の現在地について改めて確認し、子どもの居場所づくりの一助となるよう、今後のチャリティバザーの収益寄付していくことを決定しました。トップセミナーでは能登半島地震の現地企業の声を聴き、災害関連法制改正と企業に期待されている役割について会員皆で学ぶ機会となりました。また、他団体連携では、子ども食堂フェスタにおいて龍谷大学学生との協働により 3 コーナーを企画・出展したところ、学生との協働による活気あるコーナー運営が実現し、多世代によるボランティア活動の意義を確認できました。

・こうした取り組みをさらに推進する基盤強化を進めるべく会員拡大を図るため、関連企業等に参画呼びかけを実施し、大幅な会員増となりました。

当ネットとして、災害や急速な人口減少・少子高齢化の中で、貧困、社会的孤立、人手不足、介護や子育ての不安、経済への不安などの社会課題に向き合い、社会・地域にとって価値のある社会貢献活動やボランティア活動が出来るのかを考え続けていくことが重要です。今後も、これまでの活動や経験を踏まえ、会員企業・団体及び個人はもとより、県民にとって価値ある活動を、今後とも探求していきます。

1 社会貢献活動・ボランティア活動に関する普及・啓発

(1) 子どもたちの環境・福祉学習支援のためのチャリティ事業の実施

① チャリティバザー収益金活用によるリサイクルプランターの寄贈

開催日：2025 年 11 月 18 日（火）

会 場：長浜市立余呉小中学校

内 容：2025 年度のチャリティバザー「カレンダー」・「手帳」市の収益を活用し、長浜市立余呉小中学校へ栽培キット付きプランターセット 100 セットを寄贈した。

出席者：西事務局幹事（株式会社平和堂）、いしづみの家作業所（八田氏）、
長浜市立余呉小中学校 9 年生 1 名、職員 4 名、事務局（文野、中西）



② チャリティバザー「カレンダー」・「手帳」市の開催

開催日：2026 年 1 月 10 日（土）

会 場：南会場 フォレオ大津一里山 1 階ノースコート
北会場 ビバシティ彦根 1 階センタープラザ

内 容：カレンダー3,165点、手帳226点が集まり、事前作業日を設け、会員よりボランティアを募り、カレンダー・手帳のカテゴリー別仕分け作業を行った。1点100円で販売した収益金については、2025年度までは、環境・福祉学習や地域交流、福祉活動として、ペットボトルキャップリサイクルプランターを活用した「栽培キット」の寄贈は実施していたが、ペットボトルキャップ回収に取り組む学校・作業所等の減少により終了とし、「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」への全額寄付を予定している。

●出品会員：23 会員

●スタッフ参加者数：

全体準備 12 名

前日搬入 28 名

当日運営 32 名

●収益金：南会場 125,200 円／北会場 56,300 円／後日売り上げ 22,204 円
合計 203,704 円

※参考：第10回収益金 171,150 円

《南会場 フォレオ大津一里山》



《北会場 ビバシティ彦根》



(2) 子ども食堂・シニアサークルなどへの出張講座の実施

出張講座リストの作成および関係団体への案内を行っている。(子ども食堂・老人クラブ等)事務局にて講座開催依頼の受付を行い、依頼団体とも連携しながら企業・団体会員による出張講座を実施中。リストに関しては、随時更新を行っている。

●出張講座数：16 講座

●出張講座企業数：7 企業・団体

(3) チャリティイベント・地域イベント等での会員企業・団体のブース出展

①みんなあつまれ！子ども食堂フェスタ in COZY TOWN

開催日：2025 年 8 月 30 日（土）

〈団体としてのブース出展〉

遊び・体験コーナー

・大阪ガス

・株式会社平和堂



②みんなあつまれ！子ども食堂フェスタ 2025

開催日：2025 年 11 月 29 日（土）

〈会員企業・団体としてのブース出展〉

【淡海フィランソロピーネットと龍谷大学ボランティアセンターのコラボ企画】

- ・縁日コーナー
- ・射的コーナー
- ・Pさんのおもてなしカレー

〈会員企業・団体ブース出展〉

- ・株式会社平和堂 「釣って楽しい食べ物ゲーム ♪」



（４）会員の「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」への参画促進

2021 年度以降、当ネットの会員については新規のスポンサー登録（参画）がない状況となっていたが、会員研修で改めてプロジェクトの概要や実践者からのメッセージについて共有。「ハローワークワク仕事体験」への登録等の契機となった。当ネットとしては、子ども食堂フェスタなどでもボランティア活動を行っている背景もあり、会員の参画をさらに促していく。

●参画会員：16 会員

2017 年度 5 会員(大阪ガス株式会社・滋賀ダイハツ株式会社・株式会社平和堂・
明智榮一・待文麻呂)

2018 年度 4 会員(アインズ株式会社・株式会社ベストーネ・小倉三千雄・川畑豊明)

2019 年度 4 会員(一般社団法人滋賀県労働者福祉協議会・シマダヤ西日本株式会社・
株式会社滋賀銀行・損害保険ジャパン株式会社)

2020 年度 1 会員(第一生命保険株式会社 滋賀支社)

2021 年度 1 会員(生活協同組合コープしが)

2025 年度 1 会員(匿名)

（５）滋賀県地域養護推進協議会への参画

全体会議への参加

開催日：2025 年 7 月 1 日（火）

会 場：滋賀県立長寿社会福祉センター 第 1 研修室

内 容：講義「若者支援における居場所の意義」

滋賀県立大学 原 未来 准教授

出席者：事務局 文野

(6) 滋賀県災害ボランティアセンターへの参画

①滋賀県災害ボランティアセンター運営協議会への参画

【第1回】

開催日：2025年5月14日(水)

会 場：滋賀県危機管理センター

内 容：災害福祉支援の動向、令和6年度事業報告および令和7年度事業計画について共有した。

出席者：奥村副運営委員長

【第2回】

開催日：2025年8月26日(火)

会 場：滋賀県危機管理センター

内 容：災害対策基本法の一部改正についての共有、能登半島地震被災地の状況と支援活動について活動報告が行われた。

出席者：奥村副運営委員長

【第3回】

開催日：2026年1月20日(水)

会 場：滋賀県危機管理センター

内 容：令和7年度滋賀県総合防災訓練・滋賀県災害ボランティアセンター非常時体制移行・機動運営訓練について検討を行った。

出席者：奥村副運営委員長

【第4回】

開催日：2026年3月18日(水)

会 場：滋賀県危機管理センター

内 容：滋賀県災害ボランティアセンター運営協議会規程の変更、令和7年度活動報告、滋賀県災害福祉支援センターの開設について共有された。

出席者：奥村副運営委員長

②滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議への参画

○全体会議

開催日：2025年9月22日(水)

会 場：ピアザ淡海

内 容：「能登半島地震被災地における福祉支援」と題した話題提供、グループディスカッション等を行った。

出席者：奥村副運営委員長

③滋賀県総合防災訓練・県災害ボランティアセンター機動運営訓練への参加

開催日：2026年2月1日(日)

会 場：滋賀県危機管理センター

内 容：南海トラフ巨大地震を想定した災害VC機動運営訓練を実施された。

出席者：奥村副運営委員長

(7) オレンジリボンキャンペーンへの参画
会員への一斉周知を行い、キャンペーン啓発
を積極的に実施した。

●参加企業・団体
：11 団体

番号	企業・団体名
1	綾羽株式会社
2	一圓テクノス株式会社
3	大阪ガスネットワーク株式会社
4	大塚製薬株式会社大津出張所
5	大津市社会福祉協議会
6	株式会社滋賀銀行
7	株式会社ダイレクト・ショップ
8	株式会社日吉
9	損害保険ジャパン株式会社滋賀支店
10	びわ湖放送株式会社
11	明治安田生命保険相互会社滋賀支社

●啓発資材の提供：布製オレンジリボンバッジ	6,946 個
ポスター（B 2）	16 枚
ポスター（A 3）	42 枚
リーフレット（A 4）	164 枚
合計	7,168 物品

(8) 社会貢献活動情報誌「そろふいあ」の発行 《滋賀県社会福祉協議会と共同》
広報・PR の方法や内容については今後検討していく。

(9) ホームページ・SNS 運営による情報発信
HP への情報公開と合わせて、タイムリーな情報発信を SNS で行うことで活動の PR を今後は強化していく。

(10) 運営委員長表彰

表彰式：2025 年 7 月 9 日（水） ※総会と併せて実施。

受賞者：◆松田 弘 氏 （特別功労表彰）※奥様、ご息女様が代理で受賞
◆福井 通 氏 （特別功労表彰）

2 社会貢献活動・ボランティア活動に関する調査・研究

(1) 環境保全ならびに障害のある方の就労支援の推進

①ペットボトルキャップリサイクル事業の推進

回収したペットボトルキャップを事務局から作業所へ提供した。

②メンテナンス付リサイクルプランターリース販売事業の支援

2025 年度のチャリティバザー収益金を活用し、リサイクルプランター付栽培キット 100 個を購入し長浜市立余呉小中学校へ寄贈を行った。



(2) 災害ボランティア資機材リストの整備

資機材リストおよび災害時連絡網を更新した。（資機材提供会員：22 会員）

(3) 食品ロスを防ぐ観点からの子ども食堂・フードバンクとの連携

フードバンクに加え、子ども食堂など地域の居場所との連携を引き続き進めていく。

3 社会貢献活動・ボランティア活動に関する情報交換・交流

(1) 会員研修・会員交流会の実施

開催日：2025年7月9日(水) 15:00～16:40

会場：ふれあいプラザ大津 ホール 参加者数：43名

内容：テーマ

「子どもを真ん中においた地域づくりのためにできること
～「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」の現在地～」

●実践報告

＜登壇者＞「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」とは
滋賀県社会福祉協議会 地域養護・はぐくみ係 主任 栗野友美佳
「ハローわくわく体験」
宮川バネ工業株式会社 専務取締役 宮川絵理子氏
「子ども食堂」
子ども食堂ひがしっこ・あおぞら 小西由美子氏
「フリースペース」
社会福祉法人幸寿会
特別養護老人ホームカーサ月の輪 施設長 日比晴久氏

＜進 行＞ 生活協同組合コープしが 理事長 白石一夫 氏

●意見交換・グループトーク



4 研究会および講演会等の開催

(1) 企業・団体の社会貢献活動トップセミナーの開催

開催日：2025年11月12日(水)

会場：琵琶湖ホテル 瑠璃（交流会はローズ）

参加者：セミナー68名（淡海フィランソロピーネット会員53名、会員外4名）

交流会 38名

内容：テーマ「能登半島地震の教訓を踏まえた災害法制改正とこれからの災害に対応するための企業の役割を考える」

●基調講演「能登半島地震とその後の変化から考える災害対応—企業・団体への期待—」

大阪公立大学 大学院文学研究科 人間行動学専攻
文学部 人間行動学科 准教授 菅野 拓氏

●被災地からの報告

「町で唯一のスーパーが支えた地域の暮らしと支えとなったネット
ワーク」

有限会社もとや庄治商店 代表取締役 本谷 一知氏



5 会務の運営



(1) 総会の開催

開催日：2025 年 7 月 9 日（水）

会 場：ふれあいプラザ大津 ホール

議 題：

- ① 2024 年度 事業報告（案）および収支決算（案）について
- ② 2025 年度 事業計画（案）および収支予算（案）について
- ③ 2025 年度 運営委員について



(2) 副運営委員長・事務局幹事会議の開催

○第 1 回

開催日：2025 年 4 月 30 日（水）

会 場：滋賀県立長寿社会福祉センター 介護研修室

議 題：

- ① 2024 年度 事業報告（案）および収支決算（案）について
- ② 2025 年度 事業計画（案）および収支予算（案）について
- ③ 2025 年度 総会について（役割分担など）
- ④ 2025 年度 企業・団体の社会貢献活動セミナーについて
- ⑤ 今後のスケジュールについて

○第 2 回

開催日：2025 年 9 月 10 日（水）

会 場：滋賀県立長寿社会福祉センター 介護研修室

議 題：

- ① 2025 年度 企業・団体の社会貢献活動セミナーについて
- ② チャリティバザーについて
- ③ プランター寄贈について
- ④ 子ども食堂フェスタ 2025 について

○第3回

開催日：2025年12月24日（水）

会 場：滋賀県立長寿社会福祉センター 福祉用具センターミーティングルーム

議 題：

- ① 30周年記念事業について
- ② 2026年度役員改選について
- ③ チャリティバザーについて

○第4回

開催日：2026年2月12日（木）

会 場：滋賀県立長寿社会福祉センター 介護研修室

議 題：

- ① 30周年記念事業について
- ② 2026年度役員改選について

（3）監事会の開催

開催日：2025年5月14日（水）

会 場：関西みらい銀行 びわこビル

監査項目：

- ① 2024年度 事業報告（案）について
- ② 2024年度 収支決算（案）について

（4）運営委員会の開催

○第1回

開催日：2025年6月4日（水）

会 場：滋賀県立長寿社会福祉センター 介護実習室

議 題：

- ① 2024年度 事業報告（案）および収支決算（案）について
- ② 2025年度 事業計画（案）および収支予算（案）について
- ③ 2025年度 総会および会員研修・セミナーにかかるテーマ（案）について
- ④ チャリティバザー売り上げの使途について
- ⑤ 2025年度 運営委員長表彰について
- ⑥ そろふいあについて

○第2回

開催日：2025年10月14日（火）

会 場：滋賀県立長寿社会福祉センター 第1研修室

議 題：

- ① 2025年度 企業・団体の社会貢献活動トップセミナーについて
- ② チャリティバザーカレンダー手帳市について
- ③ プランター寄贈について
- ④ 子ども食堂フェスタ2025について

○第3回

開催日：2026年3月5日（木）

会 場：滋賀県立長寿社会福祉センター 会議室

議 題：

- ① 30周年記念事業について

- ② 2026 年度 役員改選について
- ③ 2026 年度事業の方向性について

(5) 部会の開催

【他団体連携部会・龍谷大学 VC との打合せ】

- ① 開催日：2025 年 7 月 23 日（水）
会 場：龍谷大学 ボランティア・NP0 活動センター
議 題：学生との連携・協働について
- ② 開催日：2025 年 9 月 5 日（金）
会 場：龍谷大学 ボランティア・NP0 活動センター
議 題：学生との連携・協働について
- ③ 開催日：2025 年 11 月 7 日（金）
会 場：龍谷大学 ボランティア・NP0 活動センター
議 題：フェスタ当日の動きについて

【他団体連携部会・龍谷大学 VC との活動の振り返り】

開催日：2026 年 1 月 9 日（金）
会 場：龍谷大学 ボランティア・NP0 活動センター
議 題：子ども食堂フェスタでの学生との連携・協働の振り返り

(6) 30 周年記念フォーラムの開催

発足 30 周年という節目に際し、改めてこの 30 年を振り返るとともに、災害支援のこれからについても皆で展望し、会員一丸となって社会貢献活動に取り組んでいく機運を高めるため記念フォーラムを開催した。

開催日：2026 年 3 月 23 日（月）

会 場：琵琶湖ホテル 瑠璃

参加者：セミナー 89 名（淡海フィランソロピーネット会員 58 名、会員外 16 名）
交流会 44 名

内 容：『阪神・淡路大震災から 30 年

～ネットワークの歩みを知り、これからの災害支援を考える』

- ・淡海フィランソロピーネット 30 年の歩み
- ・滋賀県知事 三日月大造氏からのメッセージ
- ・特別講演

「阪神・淡路大震災から 30 年～ボランティア元年からの災害支援の変遷と
いま私たちのすべきこと～」

講師 認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

／認定特定非営利活動法人全国災害ボランティア団体支援

ネットワーク（JVOAD）

代表理事 栗田 暢之氏

- ・スペシャルコラボトーク

「これまでの災害支援の課題をふまえて、災害時に県民の命と暮らしを
守るために、企業・行政・社協が果たすべき役割」

登壇者 ・淡海フィランソロピーネット 運営委員長 高橋 祥二郎氏

・滋賀県健康医療福祉部 部長 山田 忠利氏

・社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 会長 市川 忠稔氏

コメンテーター 特別講演 講師 栗田 暢之氏

コーディネーター 特定非営利活動法人 NPO 政策研究所

専務理事 相川 康子氏